

みんなの活動紹介します

『ハピネスママの会』



2018
Vol.

49

ママが息抜きできる場

「ママたちが息抜きできる場になってほしい」と活動を始めて約11年、社会福祉協議会のサロンに登録してから9年になりました。

現在は子ども家庭支援センター内にある地域活動室や、芝浦港南地区ボランティアコーナーで活動しています。お子さんがいる時にはみんなで見守りながら、リラックスして活動を楽しんでいます。

サロンではお菓子をつまみながら、スクラップブックやシャギーラグなどの簡単な手芸をしています。手を動かしながらも「ここはどうするの?」「この間、うちの子が…」と会話が弾みます。

写真などを貼ってスクラップブック作り



みんな同じことをしなくてもOK!
やりたいことをしながら、おしゃべりを楽しみます◎

不要になった服を使って作ったシャギーラグ

活動地区：芝・芝浦

1人じゃないから続いた活動

子育てサロンは、ママの復職や子どもの入園で無くなってしまふことがあります。そんな中で「ハピネスママの会」は長年活動を続けています。その秘訣を代表の松田さんに伺うと「1人ではなく、長年参加しているママたちが手伝ってくれるからかな」と話してくださいました。毎回のサロンの日時や、活動内容もみんなで相談しながら決めているそうです。

サロンは松田さん自身にも必要な場になっているようで、「学校や家以外にも居場所があることは、心の余裕につながると私も実感したから、続けているのかな」と教えてくださいました。



ママたちがリラックスしているのが伝わって安心したからかぐっすり眠ってしまいました◎

つながりが切れないように

サロンでは「第3の居場所でできたつながりを途切れさせたくない」と、季節行事の際には、平日だと参加できない人にも声をかけ、土日開催しています。ママたちだけでなく子どもたちにも、このつながりを今後も大切にしてほしいと思って活動しているそうです。

参加していたママからは「このサロンがあって、私も本当に助かった」との声もきかれ、お互い気負わずにさりげなく支えあっていることがわかりました。

ママや子どもたちの第3の居場所となっているサロンを、これからも皆さんで大切にしてください。



ハロウィンパーティーには、多くの復職したママや子どもたちが来てくれました♡